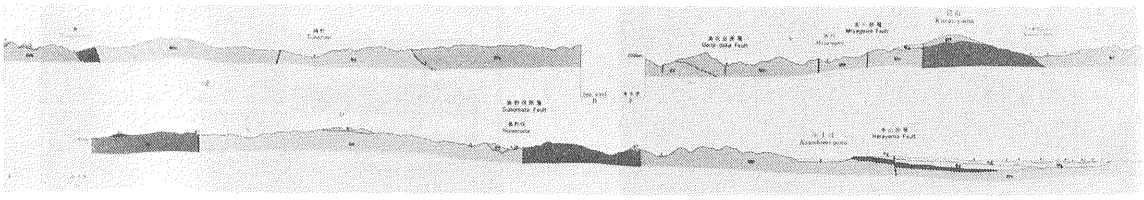

5万分の1地質図幅の新刊

三日町
MIKKAMACHI

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著　者　河田清雄
発　行　工業技術院　地質調査所
取扱先　東京地学協会　(03)261-0809　262-1401
そのほか全国主要書店
販売価格　2,390円

三日町　　河田清雄

三日町地域は飛騨山地のほぼ中央部　高山市の西方に位置し東部の高山盆地を除いては海抜1,000—1,600mの山地からなり表日本と裏日本の分水嶺の一部を構成している．　地質学的には　西南日本内帯の北東部よりに位置し　図幅地域の北東部は飛騨外縁帯の南縁に　また　南西部は飛騨帯南縁に当たるが美濃帯に相当する地域は白亜紀後期の濃飛流紋岩類により広く覆われているので　中・古生層は露出しない

飛騨外縁帯は二畳系の森部(もりべ)層の一部が分布し　広域変成作用により準片岩—片岩化し　飛騨外縁帯に特徴的な岩相の一つを示している．　飛騨帯に貫入した麦島花崗岩は中生代前期の船津花崗類の一員で　主岩相のトーナル岩を貫ぬく石英モンゾ閃緑岩が新しく識別され　その黒雲母のK-Ar年代は142±5 Maを示し　かなり若いが白亜紀花崗岩による若返りと考えられる．　ジェラ紀の手取層群は飛騨山地に広く発達するものの分布の南限である

後期白亜紀—古第三紀火山・深成岩類は濃飛流紋岩類とこれに伴う花崗岩類である

濃飛流紋岩類は岐阜県から富山県にわたって広大な分布を占め流紋岩—流紋デイサイトの火砕流堆積物を主とする．　この地域では岩体の一部が広く露出している．　従来　未区分であったこの地域の濃飛流紋岩類は噴出活動のステージによりそれぞれⅠ—Ⅲまで区別され　砕屑岩層を含めて11のユニットに細分されている．　大規模な火砕流の噴出に続いて花崗閃緑斑岩花崗斑岩及び微文象花崗岩などの一連の火成活動が起り　火山—深成複合岩体が形成された

鮮新—更新世に至り地域の南西部では安山岩類の火山活動が起り　また　地域東部の高山盆地とその周辺に湖沼性堆積物が堆積した．　ほぼこれと同時期に北東—南西方向に生じた割れ目から　かんらん石玄武岩が小規模噴出し　続いて乗鞍火山山麓付近に発生したデイサイト溶結凝灰岩の西端部が高山盆地とその周辺の丘陵を覆った．

三日町地域は活断層の密度の高い地域で跡津川断層と呼ばれる北東—南西走向の右横ずれ断層群が発達し　地形・地質に著しい影響を与えている．

鉱産資源としては　小鳥(おどり)川流域の濃飛流紋岩類中の非溶結凝灰岩中に陶石鉱床が分布し　窯業原料として稼行されている．

三日町地域は濃飛流紋岩類の卓越する地域であり　濃飛流紋岩類の研究史をはじめとし　鉱物容量比によるダイアグラム　苦鉄質鉱物の光学的性質　化学組成とその変化図などが盛りこまれ　濃飛流紋岩類の概観を知るには好都合であり　同様な酸性火砕岩類を研究する人達への格好な手引ともなるであろう．

地質ニュース　第335号　7月号
定価￥540　〒実費
昭和57年7月1日　発行
編集　工業技術院　地質調査所
発行人　林　久　雄
発行所　株式会社　実業公報社
印刷　東京都千代田区九段南4の2の12
Tel. (03) 265-0951 (代表)
振替口座　東京 32466
総発売元　株式会社　実業公報社
出版事業部

©1982 Geological Survey of Japan